

（表）

指定事業所に係る変更届出書

年 月 日

（届出先）
横浜市長

届出者 住 所
氏 名

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例第10条の規定により次のとおり届け出ます。

指定事業所の名称等	許可番号	第 号	根拠等	<input type="checkbox"/> 条例第3条第1項（年 月 日）
				<input type="checkbox"/> 条例第15条第1項（年 月 日）
				<input type="checkbox"/> 条例附則第2項
	名 称			
	所 在 地			
変 更 事 項	<input type="checkbox"/> 条例第3条第2項第1号から第3号までに掲げる事項の変更 <input type="checkbox"/> 許可申請者の氏名、名称又は住所の変更 <input type="checkbox"/> 法人の代表者の氏名の変更 <input type="checkbox"/> 指定事業所の名称及び所在地の変更 <input type="checkbox"/> 業種の変更 <input type="checkbox"/> 条例第18条第1項の規定により認定された環境管理事業所以外の事業所の変更 <input type="checkbox"/> 指定作業の廃止 <input type="checkbox"/> 指定施設の使用の廃止又は除却 <input type="checkbox"/> 指定施設の構造の変更 <input type="checkbox"/> 排水の排出先の変更 <input type="checkbox"/> 指定事業所の敷地の境界線の変更 <input type="checkbox"/> 不飽和ポリエステル樹脂の塗布の作業の方法の変更 <input type="checkbox"/> 条例第18条第1項の規定により認定された環境管理事業所の変更 <input type="checkbox"/> 指定作業の追加 <input type="checkbox"/> 指定施設の設置 <input type="checkbox"/> 指定施設の構造の変更 <input type="checkbox"/> 指定施設に係る燃料の種類又は使用量の変更 <input type="checkbox"/> 排煙指定物質、地下浸透禁止物質及び炭化水素系特定物質を含有する原材料等の新たな使用 <input type="checkbox"/> 公害の防止のための装置の変更 <input type="checkbox"/> 設置 <input type="checkbox"/> 構造の変更 <input type="checkbox"/> 使用方法の変更 <input type="checkbox"/> 使用の廃止 <input type="checkbox"/> 除却 <input type="checkbox"/> 排水の系統の変更 <input type="checkbox"/> 指定事業所の敷地の境界線の変更			

(裏)

変更内容	変 更 前	変 更 後
変更理由		
変 更 年 月 日	年 月 日	
連 絡 先	部 課 係 担当者氏名 電 話 番 号 (内線)	
添 付 書 類	<input type="checkbox"/> 指定事業所に係る変更概要書 (第7号様式) <input type="checkbox"/> 公害防止方法変更概要書 (第8号様式) <input type="checkbox"/> その他 ()	

- (注意) 1 のある欄には、該当する内に \surd 印を記入してください。
- 2 添付書類の欄でその他の書類を添付した場合には内に \surd 印を記入し、その添付した書類の名称を()内に記入してください。
- 3 第3号様式に掲げる「粒子状物質の排出量明細書」の内容に変更があった場合(事業所に設置されているばい煙発生施設が全廃された場合を除く。)は、「粒子状物質の排出量明細書」を添付してください。

（表）

指定事業所に係る変更概要書

1 指定施設の設置

指 定	指定作業及び指定施設番号		- () - ()	- () - ()	- () - ()
	名 称				
	事業所における施設番号				
	種 類 及 び 型 式				
	台 数				
	規 模 又 は 能 力				
	用 途				
	構 造 ・ 配 置 状 況				
施 設	燃 料 又 は 電 力	種 類			
		燃 料 中 の 成 分 割 合 (%)	硫 黄 分		
			窒 素 分		
		総 発 熱 量			
	通 常 の 使 用 量				
原 材 料 (排煙の発生 に影響のある ものに限る。)	種 類				
	原 材 料 中 の 成 分 割 合 (%)				
	1 日 の 使 用 量				
使 用 状 況	1 日 の 使 用 時 間				
	季 節 変 動				

(注意) 1 指定施設の名称の欄には、別表第1の施設の欄の名称を記入してください。

2 事業所における施設番号の欄には、事業所内で管理のために付けている番号、記号等を記入してください。

3 指定施設の原材料中の成分割合の欄には、硫黄分、窒素分及び燃焼に伴い排煙指定物質を排出する可能性のある成分について、その割合を重量比・容量比の別を明らかにして記入してください。

4 指定施設の熱源として電力を使用する場合は、種類の欄に「電力」と記入してください。

(裏)

2 排煙指定物質、地下浸透禁止物質及び炭化水素系特定物質を含有する原材料等の新たな使用

品 目					
用 途					
1月当たりの使用量					
含 有 物 質					
含 有 率					

3 その他の変更

変 更 事 項	変 更 前	変 更 後

4 指定作業の工程 別紙 () のとおり

5 排水の排出先

<input type="checkbox"/> 公共下水道 (<input type="checkbox"/> 分流式 <input type="checkbox"/> 合流式) <input type="checkbox"/> 公共用水域 () <input type="checkbox"/> 地下浸透 <input type="checkbox"/> そ の 他 ()

(注意) 1 該当する□内にレ印を記入してください。

2 その他については、汚水等を別表第1の53の項に掲げる処理施設等に排出する場合にその排出先を () 内に記入してください。

6 用排水収支バランス 別紙 () のとおり

7 用水及び排水の系統図 別紙 () のとおり

公害防止方法変更概要書

変更に係る 指定施設等 の公害発生源	発生する 公害の種類	発生源での 公害の程度 の 予 測 値	排出口・敷地境界線等での 公害の程度の予測値		公 害 防 止 対 策 (予測値の算出根拠を含む。)
			変 更 前	変 更 後	
指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法	<input type="checkbox"/> 排煙の排出方法概要書 <input type="checkbox"/> 窒素酸化物の排出量明細書（ボイラーに限る。） <input type="checkbox"/> 窒素酸化物の排出量明細書（ガスタービン、ディーゼルエンジン及びガスエンジンに限る。） <input type="checkbox"/> 炭化水素系物質の排出に係る施設の排出防止方法概要書（貯蔵施設、出荷施設及び給油施設に限る。） <input type="checkbox"/> ばいじんの排出量明細書（廃棄物焼却炉に限る。） <input type="checkbox"/> 廃棄物焼却炉及び廃棄物焼却炉に係る排出ガス処理施設の設備概要書 <input type="checkbox"/> 粒子状物質の排出量明細書 <input type="checkbox"/> 粉じんの処理方法概要書 <input type="checkbox"/> 悪臭の処理方法概要書 <input type="checkbox"/> 排水の汚染状態及び量等の明細書 <input type="checkbox"/> 排水の処理方法概要書 <input type="checkbox"/> 地下浸透禁止物質の製造等をする作業に係る施設の構造概要書 <input type="checkbox"/> 騒音の処理方法概要書 <input type="checkbox"/> 振動の処理方法概要書 <input type="checkbox"/> 上記に掲げる書類のほか、指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法を明らかにする図面、表等				

(注意) 1 発生する公害の種類欄には、大気汚染及び水質汚濁に係るものについては、別表第2から別表第9まで、別表第11及び別表第12に掲げる物質名を記入してください。

2 指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法は、規則第94条に基づき環境創造局長が定める様式の書類を用いることとし、添付したものについて□内に✓印を記入してください。

排煙の排出方法概要書

指定事業所における排煙を発生する施設の番号						
指定事業所における排煙処理施設の番号						
排煙処理施設の種類、名称及び型式						
排出ガス量（定格能力） （ m^3N/h ）	湿り					
	乾き					
排出ガス中の酸素濃度	（%）					
排出ガス温度（℃）	処 理 前					
	処 理 後					
排煙の濃度	硫黄酸化物 （容量比ppm）	処 理 前				
		処 理 後				
排煙の濃度	窒素酸化物 （容量比ppm）	処 理 前				
		処 理 後				
排煙の濃度	ばいじん （ g/m^3N ）	処 理 前				
		処 理 後				
排煙の濃度		処 理 前				
		処 理 後				
排煙の濃度		処 理 前				
		処 理 後				
力 除 去 率（%）	硫 黄 酸 化 物					
	窒 素 酸 化 物					
	ば い じ ん					
排出口の高さ及び口径（m）						

- (注意) 1 排煙処理施設を設置していない場合は、排出ガスの温度及び排煙の濃度を処理前の欄に記入してください。
- 2 排煙の濃度の欄には、乾きガス中の濃度を記入してください。
- 3 排煙の濃度及び除去率の欄には、当該施設から発生する排煙中に含まれる硫黄酸化物、窒素酸化物及びばいじんについて記入するほか、炭化水素系特定物質及び排煙指定物質について、それぞれ当該物質の種類ごとに記入してください。
- 4 ばいじん濃度等の酸素濃度補正を行う施設については、補正值を記入してください。

窒素酸化物の排出量明細書（ボイラーに限る。）

1 ボイラーに係る窒素酸化物の排出量の許容限度等

ボイラーの番号 及び記号	① 窒素酸化物の排出 量の許容限度 Qi (m ³ N/h) [$\frac{②}{10^6} \times ③$]	② 係 数 Ci	③ 定格能力運転時の 乾き排出ガス量 (O ₂ 0%換算) V (m ³ N/h) [$\frac{21-④}{21} \times ⑤$]	④ 定格能力運転時の 乾き排出ガス中の 酸素濃度 Oi (%)	⑤ 定格能力運転時の 乾き排出ガス量 Vi (m ³ N/h)

2 ボイラー別の窒素酸化物の排出量等

ボイラーの番号及び 記 号	⑥ 窒素酸化物の排出量 Q (m ³ N/h) [$\frac{⑦}{10^6} \times ③$]	⑦ 窒素酸化物の排出濃度 C (ppm) [$\frac{21}{21-⑨} \times ⑧$]	⑧ 乾き排出ガス中の窒素 酸化物濃度 Cs (ppm)	⑨ 乾き排出ガス中の酸素 濃度 Os (%)

(注意) 「Qi」、「Ci」、「V」、「Oi」、「Vi」、「Q」、「C」、「Cs」、及び「Os」とは、別表第3の1に定めるQi、Ci、V、Oi、Vi、Q、C、Cs及びOsをいいます。

窒素酸化物の排出量明細書
(ガスタービン、ディーゼルエンジン及びガスエンジンに限る。)

1 ガスタービン、ディーゼルエンジン及びガスエンジンに係る窒素酸化物の排出量の許容限度等

施設の番号 及び記号	① 窒素酸化物の排出 量の許容限度 $Q_i \text{ (m}^3\text{N/h)}$ $[\frac{②}{10^6} \times ③]$	② 係 数 C_i	③ 定格能力運転時の 乾き排出ガス量 (標準酸素濃度換 算) $V \text{ (m}^3\text{N/h)}$ $[\frac{21-④}{21-O_n} \times ⑤]$	④ 定格能力運転時の 乾き排出ガス中の 酸素濃度 $O_i \text{ (%)}$	⑤ 定格能力運転時の 乾き排出ガス量 $V_i \text{ (m}^3\text{N/h)}$

2 ガスタービン、ディーゼルエンジン及びガスエンジン別の窒素酸化物の排出量等

施設の番号 及び記号	⑥ 窒素酸化物の排出量 $Q \text{ (m}^3\text{N/h)}$ $[\frac{⑦}{10^6} \times ③]$	⑦ 窒素酸化物の排出濃 度 $C \text{ (ppm)}$ $[\frac{21-O_n}{21-⑧} \times ⑧]$	⑧ 乾き排出ガス中の窒 素酸化物濃度 $C_s \text{ (ppm)}$	⑨ 乾き排出ガス中の酸 素濃度 $O_s \text{ (%)}$

(注意) 「 Q_i 」、「 C_i 」、「 V 」、「 O_i 」、「 V_i 」、「 Q 」、「 C 」、「 C_s 」、「 O_s 」及び「 O_n 」とは、別表第3の2に定める Q_i 、 C_i 、 V 、 O_i 、 V_i 、 Q 、 C 、 C_s 、 O_s 及び O_n をいいます。

炭化水素系物質の排出に係る施設の排出防止方法概要書
 （貯蔵施設、出荷施設及び給油施設に限る。）

炭化水素系物質を排出する施設の種類	排出防止処理設備の概要
貯蔵施設	<input type="checkbox"/> 浮屋根式 <input type="checkbox"/> 炭化水素系物質の排出防止効果を有する装置 装置の名称及び型式（ ） 排出防止方法の概要（ ）
出荷施設	<input type="checkbox"/> 排出濃度が8容量%以下の排出防止装置 装置の名称及び型式（ ） 排出濃度（容量%）（ ） 排出防止方法の概要（ ） <input type="checkbox"/> 除去率が80%以上（温度20℃）の排出防止装置 装置の名称及び型式（ ） 除去率（温度20℃）（ ） 排出防止方法の概要（ ）
給油施設	<input type="checkbox"/> 蒸気返還方式接続設備 <input type="checkbox"/> 凝縮式処理設備 <input type="checkbox"/> 吸着式処理設備 <input type="checkbox"/> その他の設備 設備の名称及び型式（ ） 設備の概要（ ）

（注意） □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

ばいじんの排出量明細書
 （廃棄物焼却炉に限る。）

1 廃棄物焼却炉に係るばいじんの排出量の許容限度等

廃棄物焼却炉の 番号及び記号	① ばいじんの排出量 の許容限度 $Q_i(g/h)$ $[② \times ③]$	② 係 数 C_i	③ 定格能力運転時の 乾き排出ガス量 (O ₂ 12%換算) $V(m^3N/h)$ $[\frac{21-④}{9} \times ⑤]$	④ 定格能力運転時の 乾き排出ガス中の 酸素濃度 $O_i(\%)$	⑤ 定格能力運転時の 乾き排出ガス量 $V_i(m^3N/h)$

2 廃棄物焼却炉別のばいじんの排出量等

廃棄物焼却炉 の番号及び記 号	⑥ ばいじんの排出 量 $Q(g/h)$ $[⑦ \times ⑧ \times \frac{③}{⑧}]$	⑦ ばいじんの排出 濃度 $C(g/m^3N)$ $[\frac{9}{21-⑩} \times ⑨]$	⑧ 乾き排出ガス量 (O ₂ 12%換算) $V_c(m^3N/h)$ $[\frac{21-⑩}{9} \times ⑪]$	⑨ 乾き排出ガス中 のばいじんの排 出濃度 $C_s(g/m^3N)$	⑩ 乾き排出ガス中 の酸素濃度 $O_s(\%)$	⑪ 乾き排出ガス量 $V_s(m^3N/h)$

（注意） 「Q_i」、「C_i」、「V」、「O_i」、「V_i」、「Q」、「C」、「V_c」、「C_s」、「O_s」及び「V_s」とは、別表第5の1(1)に定めるQ_i、C_i、V、O_i、V_i、Q、C、V_s、C_s、O_s及びV_sをいいます。

廃棄物焼却炉及び廃棄物焼却炉に係る排出ガス処理施設の設備概要書

廃棄物焼却炉の概要	<input type="checkbox"/> 連続式のもの <input type="checkbox"/> 連続式以外のもの
	1時間当たりの焼却能力 <input type="checkbox"/> 200kg未満（火格子面積2m ² 未満） <input type="checkbox"/> 200kg未満（火格子面積2m ² 以上） <input type="checkbox"/> 200kg以上625kg未満 <input type="checkbox"/> 625kg以上
	プラスチック類を含むものの焼却 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
廃棄物焼却炉の設備 （別表第5の基準に係るもの。）	<input type="checkbox"/> 一次燃焼室 <input type="checkbox"/> 助燃バーナーを備えた二次燃焼室 燃焼ガス（800℃以上の状態）の滞留時間 （ 秒） 一次燃焼室と合わせた滞留時間 （ 秒） <input type="checkbox"/> 通風を調整できる設備 <input type="checkbox"/> 上記の設備と同等以上の効果を有すると認められる方法を講じた設備 （ ） <input type="checkbox"/> 炉内温度計及びその記録装置 <input type="checkbox"/> 集じん装置入口温度計及びその記録装置 <input type="checkbox"/> 酸素濃度計及びその記録装置 <input type="checkbox"/> 一酸化炭素濃度計及びその記録装置 <input type="checkbox"/> 焼却設備内と外気とが接することなく焼却物を焼却できる構造 <input type="checkbox"/> 外気と遮断された状態で、定量ずつ連続的に焼却物を燃焼室に投入することができる供給装置 <input type="checkbox"/> 投入する焼却物の重量を検量する装置及びその記録装置
廃棄物焼却炉に係る 排出ガス処理施設の設備 （別表第5及び別表第6の基準に係るもの。）	<input type="checkbox"/> サイクロン <input type="checkbox"/> 洗浄集じん装置 <input type="checkbox"/> バグフィルター <input type="checkbox"/> その他同等以上の機能を有する集じん装置 （ ） <input type="checkbox"/> 排出ガス冷却装置 （ ） <input type="checkbox"/> 塩化水素除去装置 （ ） <input type="checkbox"/> 塩化水素濃度計及びその記録装置 <input type="checkbox"/> 排出ガス測定口

（注意） のある欄には、該当する 内にレ 印を記入してください。

(1)

粒子状物質の排出量明細書

1 指定事業所における粒子状物質の排出量の許容限度

Q _{D1} (kg/h) [①]		Q _{D2} (kg/h) [⑦]	
Q _{N1} (kg/h) [②]		Q _{N2} (kg/h) [⑧]	
Q _{S1} (kg/h) [③]		Q _{S2} (kg/h) [⑨]	
		Q _H (kg/h) [⑩]	
粒子状物質の許容限度(廃棄物焼却炉を除く。)(kg/h) [①+0.114②+0.213③]	(a)	粒子状物質の許容限度(廃棄物焼却炉に限る。)(kg/h) [⑦+0.114⑧+0.213⑨+0.915⑩]	(b)
粒子状物質の許容限度 Q _{PM} (kg/h)	(a)+(b)		

2 指定事業所における粒子状物質の排出量

ばいじん (kg/h) [④]		ばいじん (kg/h) [⑪]	
窒素酸化物 (kg/h) [⑤]		窒素酸化物 (kg/h) [⑫]	
硫黄酸化物 (kg/h) [⑥]		硫黄酸化物 (kg/h) [⑬]	
		塩化水素 (kg/h) [⑭]	
粒子状物質の排出量(廃棄物焼却炉を除く。)(kg/h) [④+0.114⑤+0.213⑥]	(c)	粒子状物質の排出量(廃棄物焼却炉に限る。)(kg/h) [⑪+0.114⑫+0.213⑬+0.915⑭]	(d)
粒子状物質の排出量 (kg/h)	(c)+(d)		

3 設置、変更及び廃止の概要

--

(2)

4 ばい煙発生施設（廃棄物焼却炉を除く。）に係る粒子状物質の排出量の許容限度の明細

区分	施設番号	施設名称	設置年月日	施設規模	燃料種類	燃焼能力 (L/h) (kg/h) (m ³ N/h)	ばいじん		窒素酸化物		硫黄酸化物	
							係数	W _{D1} (L/h)	係数	W _{N1} (L/h)	係数	W _{S1} (L/h)
既存施設												
計 (kL/h)								(a)		(b)		(c)

①Q _{D1} (kg/h)	
②Q _{N1} (kg/h)	
③Q _{S1} (kg/h)	

(a)が1以上の場合 [0.363×(a)^{0.865}]
 1未満の場合 [0.363×(a)]

(b)が1以上の場合 [1.06×(b)^{0.865}×2.054]
 1未満の場合 [1.06×(b)×2.054]

[7×(c)×2.857]

窒素酸化物の排出許容限度
[②÷2.054] (m ³ N/h)
硫黄酸化物の排出許容限度
[③÷2.857] (m ³ N/h)

(注意) 事業所に設置されているすべてのばい煙発生施設のうち、設置、変更及び廃止する施設は「区分」の欄にそれぞれ「設置」、「変更」及び「廃止」と記入し、それ以外の既存の施設がある場合は「既存施設」の欄に記入してください。

(4)

6 廃棄物焼却炉に係る粒子状物質の排出量の許容限度の明細

区分	施設番号	施設名称	設置年月日	施設規模	焼却物の種類	焼却能力(t/h)	ばいじん	窒素酸化物		硫黄酸化物		塩化水素
							W _{D2}	係数	W _{N2}	係数	W _{S2}	W _H
既存施設												
計(t/h)							(a)	/	(b)	/	(c)	(d)

⑦Q _{D2} (kg/h)	
⑧Q _{N2} (kg/h)	
⑨Q _{S2} (kg/h)	
⑩Q _H (kg/h)	

$$[0.3 \times (a)^{0.865}]$$

$$[1.06 \times (b)^{0.865} \times 2.054]$$

$$[7 \times (c) \times 2.857]$$

$$[0.5 \times (d)^{0.865}]$$

(注意) 事業所に設置されているすべてのばい煙発生施設のうち、設置、変更及び廃止する施設は「区分」の欄にそれぞれ「設置」、「変更」及び「廃止」と記入し、それ以外の既存の施設がある場合は「既存施設」の欄に記入してください。

粉じんの処理方法概要書

<p>発生源の概要</p>	
<p>処理方法</p>	<p><input type="checkbox"/> 粉じんが飛散しにくい構造の建物内で作業を実施</p> <p><input type="checkbox"/> 集じん設備の設置</p> <p style="padding-left: 40px;">設備の種類、名称及び型式()</p> <p style="padding-left: 40px;">湿式、乾式の区分(湿式・乾式)</p> <p style="padding-left: 40px;">設備の処理能力(処理ガス量m^3N/h)()</p> <p style="padding-left: 40px;">除去率(%) ()</p> <p style="padding-left: 40px;">排出口の実高さ、頂口径()</p> <p><input type="checkbox"/> 散水設備の設置</p> <p style="padding-left: 40px;">設備の種類、型式及び基数()</p> <p style="padding-left: 40px;">設備の能力(m^3/h)()</p> <p style="padding-left: 40px;">散水の方 法()</p> <p><input type="checkbox"/> 防じんカバー等設置</p> <p style="padding-left: 40px;">防じんカバー等設置状況</p> <p style="padding-left: 80px;">()</p> <p><input type="checkbox"/> その他の処理方法</p> <p style="padding-left: 80px;">()</p>

(注意) □のある欄には、該当する□内に✓印を記入してください。

(1)

排水の汚染状態及び量等の明細書

項 目			排 水 量 (m ³ /日)		pH	BOD (mg/l)		COD (mg/l)		SS (mg/l)	
			通常	最大		通常	最大	通常	最大	通常	最大
排水 処理 施設 名	①	処理前									
		処理後									
	②	処理前									
		処理後									
	③	処理前									
		処理後									
排水 口 別											
合 計											

項 目			nヘキサン抽出物質 (mg/l)				大腸菌群数 (個/cm ³)					
			鉱油類		動植物油脂		通常	最大	(mg/l)		(mg/l)	
			通常	最大	通常	最大			通常	最大	通常	最大
排水 処理 施設 名	①	処理前										
		処理後										
	②	処理前										
		処理後										
	③	処理前										
		処理後										
排水 口 別												

(注意) 1 「排水口別」の左欄には事業所内で管理のため付けている排水口の名称・記号等を記入し、右欄には流入する排水処理施設の番号(①、②、③)を記入してください。

2 「合計」の欄には、排水口別の水量の合計を記入してください。

3 項目の欄に記載のない項目については、次の項目のうち排出のおそれのある項目について記載してください。

カドミウム、シアン、有機^{りん}、鉛、六価^ひクロム、砒素、水銀、アルキル水銀、ポリ塩化ビフェニル、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ほう素、ふっ素、アンモニア等、ダイオキシン類、フェノール類、銅、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガン、ニッケル、クロム及び1,4-ジオキサン

(2)

項 目			(mg/ι)		(mg/ι)		(mg/ι)		(mg/ι)		(mg/ι)	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
排水 処理 施設 名	①	処理前										
		処理後										
	②	処理前										
		処理後										
	③	処理前										
		処理後										
排水 口 別												

項 目			(mg/ι)		(mg/ι)		(mg/ι)		(mg/ι)		(mg/ι)	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
排水 処理 施設 名	①	処理前										
		処理後										
	②	処理前										
		処理後										
	③	処理前										
		処理後										
排水 口 別												
添付 書類	<input type="checkbox"/> 排水口の事業所内位置図											

(注意) 添付する「排水口の事業所内位置図」には、排水処理施設と排水口を記入してください。

(A4)

排水の処理方法概要書

処 理 施 設	処理施設の名称及び種類			
	設置場所			
	工事着手予定年月日			
	工事完成予定年月日			
	使用開始予定年月日			
	型 式			
	構 造			
	主 要 寸 法			
	能 力 (m ³ / 日)			
	処 理 方 法			
	設 計 計 算 書			
	設 置 状 況	使用 状 況	月 使 用 日 数 等	時間／回 回／日 日／月
季 節 変 動				
使用 する 消耗 資材		名 称		
	用 途 別			
	1 日 当 た り の 使 用 量			
添 付 図 面		<input type="checkbox"/> 排水処理施設の構造・規模・能力を説明する図面及び設計計算書		

騒音の処理方法概要書

(単位 デシベル)

発生源である施設等					
㉑ 発生源での騒音レベル		m dB	m dB	m dB	m dB
騒音対策による減衰値	㉒ 音源対策による減衰				
	㉓ 距離減衰	m dB	m dB	m dB	m dB
	㉔ 建屋による減衰				
	㉕ 防音壁等による減衰				
	㉖ 減衰値合計 ㉒+㉓+㉔+㉕				
敷地境界線での騒音レベル予測 ㉑-㉖					
防音対策の具体的内容					
施設の使用時間		時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分
当該事業所に適用される規制基準値		【午前8時から午後6時まで】 dB	【午前6時から午前8時まで及び午後6時から午後11時まで】 dB	【午後11時から午前6時まで】 dB	
添付図面		施設等の位置及びその位置から敷地境界線までの距離を示した図面			

振動の処理方法概要書

(単位 デシベル)

発生源である施設等					
㉠ 発生源での振動レベル		m dB	m dB	m dB	m dB
振動 対策 に よ る 減 衰 値	㉡ 防振対策による減衰				
	㉢ 距離減衰	m dB	m dB	m dB	m dB
	㉣ その他				
	㉤ 減衰値合計 ㉡+㉢+㉣				
敷地境界線での振動レベル予測 ㉠-㉤					
防振対策の具体的内容					
施設の使用時間		時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分
当該事業所に適用される 規制基準値		【午前8時から午後7時まで】 dB		【午後7時から午前8時まで】 dB	
添付図面		施設等の位置及びその位置から敷地境界線までの距離を示した図面			